

イズムと云ふ語の意味次第

芥川龍之介

青空文庫

イズムを持つ必要があるかどうか。かう云ふ問題が出たのです
が、実を云ふと、私は^{わたし}生憎^{あいにく}この問題に^{だいぶ}大分関係のありさうな岩^{いは}
^{はのうめい}野泡鳴氏の論文なるものを読んでゐません。だからそれに対する私の答も、幾分新^{しんてう}潮記者なり読者なりの考と、焦点が合はな
いだらうと思ひます。

実を云ふとこの問題の性質が、私にはよくのみこめません。イ
ズムと云ふ意味や必要と云ふ意味が、考へ次第でどうにでも曲^まげ
られさうです。又それを常識で一通りの解釈をしても、イズムを
持つと云ふ事がどう云ふ事か、それもいろいろにこじつけられる
でせう。

それを差^さ当^{あた}り、我我が皆口マンテイケルとかナトウラリスト

とかになる必要があるかと云ふ、通俗な意味に解釈すれば、勿論そんな必要はありません。と云ふよりも寧^{むしろ}それは出来ない相談だ

と思ひます。元来さう云ふイズムなるものは、便宜上^{のち}後になつて

批評家に案出されたものなんだから、自分の思想なり感情なりの

傾向の全部が、それで蔽^{おほは}れる訳^{わけ}はないでせう。全部が蔽^{おほは}れなけれ

ばそれを肩書にする必要はありますまい。（尤^{もつと}もそれが全部でな

くとも或^{いちじ}著^るしい部分を表してゐる時、批評家にさう云ふイズムの

貼^{はり}札^{ふだ}をつけられたのを許^き容^{よう}する場合はありませう。又許容し

ない事がよろしくない場合もありませう。これは何時^{いつ}か生^い田^{くた}

長^{かう}江氏が、論じた事があつたと思ひますが。）

又そのイズムと云ふ意味をひっくり返して、自分の内部活動の全傾向を或イズムと名づけるなら、この問題は答を求める前に、消滅してしまひます。それからその場合のイズムに或名前をくつつけて、それを看板にする事も、勿論必要とは云はれますまい。又もう一つイズムと云ふ語を或思想上の主張と翻訳すれば、この場合もやはり前と同じ事が云はれませう。

唯、必要と云ふ語に、幾分でも自他共便宜べんぎと云ふ意味を加へれば、まるで違つた事が云はれるかも知れません。それなら私は口を噤つぐんだ方がいいでせう。一つにはイズムの提唱に無経験な私は、さう云ふ便宜を明あきらかにしてゐませんから。

(大正七年五月)

青空文庫情報

底本：「筑摩全集類聚 芥川龍之介全集第四卷」筑摩書房

1971（昭和46）年6月5日初版第1刷発行

1979（昭和54）年4月10日初版第11刷発行

入力：土屋隆

校正：松永正敏

2007年6月26日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.waozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたった

のは、ボランテニアの皆さんです。

イズムと云ふ語の意味次第

芥川龍之介

2020年 7月13日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>